

6 社 会 体 育

(1) 令和 2 年度社会体育の運営方針

スポーツの充実、一生涯を通じた生涯スポーツを目指し、住民一人ひとりが楽しんで行えるように教室や大会を開催し、目的に応じてスポーツに親しみ、積極的に参加できるような環境整備に努めます。

- ①住民各層のニーズを把握し、スポーツ活動に参加していない人の運動意欲を高めるために、スポーツ教室や、スポーツイベントを企画運営し、年齢を問わずスポーツを楽しめるように努めます。
- ②ニュースポーツや軽スポーツの体験が容易にできる機会をつくり、スポーツ活動を行っていない住民の方々にスポーツを楽しんでいただき、スポーツをクラブや、サークル活動として発展させることで、生涯スポーツの活性化を図ります。
- ③スポーツ活動の企画運営について、スポーツ協会やスポーツ推進委員と連携を取るとともに、スポーツ団体、住民がスポーツ活動やスポーツイベントにプレーヤーとして参加する「する」スポーツから「ささえる」「みる」など各々の関心や適性に応じた様々な形でスポーツに参加できる環境を創ります。

(2) 令和 2 年度社会体育の重点目標

- ア．社会体育では、村内の児童・生徒を対象に、スポーツを楽しみ心身を鍛える場を広げ、地域のクラブ活動指導者等と連携して、スポーツ活動と仲間づくりの活性化を図ります。
- イ．地域住民が一堂に会してスポーツを楽しみ、親しめる機会を設けます。
- ウ．地域住民のニーズに添ったスポーツ講習会、教室、大会行事の開催を計画し、より多くの村民が生涯にわたってスポーツを楽しみ、健康で明るい生活ができるよう推進します。
- エ．住民がスポーツに親しめるような情報を発信します。
- オ．社会体育施設の有効な活用を図ると共に、施設の環境整備に努めます。

(3) 令和 2 年度社会体育の重点活動

- ア．生涯スポーツを推進するためにスポーツ推進委員会、スポーツ協会と連携を取りながら、住民がより参加しやすいイベントを企画・運営します。
- イ．スポーツ人口の底辺拡大のため、スポーツ教室は少年スポーツと軽スポーツを中心に行います。
- ウ．スポーツ大会は、スポーツ団体等と連携し、競技力の向上を図るとともに住民の交流の場を創ります。
- エ．クラブ・サークル活動の育成・強化を図るための支援体制を強化します。
- オ．スポーツのイベント（村民スポーツ祭・冬季スポーツ祭・穂屋祭体育大会等）を村民がより楽しめる種目を検討し、参加しやすいイベントにします。
- カ．ファミリースポーツデーは、社会体育等を無料開放し、親子等でふれあえる場を提供します。
- キ．情報提供のため広報、有線告知放送及びインターネットを活用します。
- ク．社会体育施設の適正な管理運営をするため、計画的に施設整備を進めます。



ソフトバレー大会による住民の交流



穂屋祭体育大会による競技大会

(4) 令和 2 年度大会行事の開催計画

ア. 村民のためのイベント

行 事 名	内 容	会 場	期 日
第 30 回 村民スポーツ祭	跳べ跳べもっと翔べ・満タンリレー・綱引き・ 空を駆ける少女・混合メドレーリレー・ 玉入れ・年齢別リレー	原小校庭	中止
第 73 回 穂屋祭体育大会	バレーボール、バスケットボール 野球、卓球、柔道、剣道、マラソン	社会体育館 弓振農村広場 深山農村公園 原中学校体育館	8/23（日） ～ 30（日）
第 20 回 村民冬季スポーツ祭	スケート競技 綱引き・人間距離競争・ カーリング・氷上リレー	原小校庭リンク	1/23（土）

イ. 各種大会行事

大 会 ・ 行 事 名	期 日	会 場
第 58 回原村ソフトバレーボール大会	中止	社会体育館体育室
第 55 回原村バレーボール大会	中止	社会体育館体育室
第 41 回原村卓球大会	中止	社会体育館卓球室
第 55 回原村野球選手権大会	8 月 15 日（土）	弓振農村広場・深山グラウンド
第 50 回村内めぐり駅伝大会	10 月 11 日（日）	原村村内
第 56 回原村バレーボール大会	10 月 16 日（金）	社会体育館体育室
第 59 回原村ソフトバレーボール大会	11 月 21 日（土）	社会体育館体育室
第 41 回原村元旦マラソン	1 月 1 日（元旦）	村内
第 41 回原村バスケットボール大会	3 月 14 日（日）	社会体育館体育室・中学校体育館

ウ. 対外行事

大 会 ・ 行 事 名	期 日	会 場
長野県市町村対抗駅伝競走大会 小学生駅伝競走大会	中止	松本平広域公園陸上競技場
信州チャレンジスポーツ DAY ヘルスバレーボール大会	未定	原村
諏訪地方陸上競技選手権大会	9 月 6 日（日）	茅野市運動公園
第 49 回南諏親善スケート大会	1 月 9 日（土）	茅野市国際スケートセンター
第 70 回諏訪地方スケート大会	2 月 11 日（木）	茅野市国際スケートセンター

エ. 健康づくり、体力づくり運動推進行事

行 事 名	内 容	会 場	期 日
体力テスト	健康チェック、体力テスト	社会体育館	9 月 23 日（水）
ファミリースポーツデー	村民へ無料開放日 （午前 12 時～午後 5 時）	社会体育館	毎月第 2 土曜日

(5) 令和２年度講座・教室等の計画

ア．スポーツ教室一般の部

教室名	対 象	実施予定日	場 所	ねらい
筋力アップ教室	住民 (高校生以上)	奇数月 最終木曜日	社会体育館	機器の正しい使い方を学び、自分に合った筋力トレーニングをする。
陸上記録会	住民 (小学生以上)	中止	原中校庭	走りのワンポイントを学び記録の向上を図る。
バウンド テニス教室	住民 (中高年) 村民	12月～2月 月曜日	社会体育館	ミニテニスで冬の運動不足を解消する。
テニス教室	住民 (中学生以上)	2月～3月 日曜日	社会体育館	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。
バドミントン教室	7/4～12/19 (年間11回) (小学生以上)	PM1:00～3:00 (開講式は除く)	社会体育館	基礎技術を身につけ、正しいルールを学ぶ。

イ．少年スポーツ教室（小学生２～６年）

教室名	開催予定日	時 間	場 所	ねらい
少年バレーボール 教室	7/3～12/11 (年間19回)	PM6:30～8:00 (開講式は除く)	社会体育館	基礎技術を身につけ練習やゲームを通してスポーツの楽しさを体験する。
少年バスケット ボール教室	7/4～12/12 (年間17回)	PM6:00～8:00 (開講式は除く)	社会体育館	
少年サッカー教室	7/5～	PM1:00～14:30 (開講式は除く)	原小学校校庭 原小学校体育館 社会体育館	



テニス教室



卓球大会

(6) 令和元年度講座・教室等の実施状況

ア. 体力テスト

行 事 名	対 象	実 施 日	参加数	主 催	備 考
体力テスト	一般	9/25	45	教委・スポ推	登録団体

イ. スポーツ教室

教 室 名	ね ら い	回数	延参加者数
筋力アップ教室	トレーニングマシンの活用法を知って筋力アップを図る。	5	23
陸上記録会	走りのワンポイントを学び、記録の向上を図る。	雨天により中止	

ウ. 少年スポーツ教室（小学生2～6年）

教 室 名	教室人員	ね ら い	教室回数	延参加者数
少年バスケットボール教室	17	基礎技術の習得をとおして仲間づくりと心身の健全育成を図る。	23	179
少年バレーボール教室	24		26	506
少年サッカーボール教室	46		17	386

(7) 令和元年度大会行事実施状況

ア. 主として社会体育館で企画推進しているスポーツ行事

行 事 名	実施日	参加者数	対前年	主催・主管	備 考
第56回原村ソフトバレーボール大会	6/1	35人	1人	教委・スポ推	7チーム
第53回原村バレーボール大会	6/14	32人	△8人	教委・スポ協	3チーム
第40回原村卓球大会	6/30	4人	△4人	教委・スポ協	
第29回原村村民スポーツ祭	7/13	中止	766人	村・教委・スポ協	
第54回原村野球選手権大会	8/15	170人	17人	教委・スポ協	9チーム
第72回穂屋祭体育大会	8/18～8/31	600人	17人	教委・スポ協	7種目
第49回村内めぐり駅伝大会	10/14	85人	10人	教委・スポ協	17チーム
第54回原村バレーボール大会	10/18	50人	17人	教委・スポ協	3チーム(女子) 2チーム(男子)
第57回原村ソフトバレーボール大会	11/16	50人	8人	教委・スポ推	9チーム
第40回原村元旦マラソン	1/1	44人	△14人	教委・スポ協	
第19回原村村民冬季スポーツ祭	1/25	中止	約600人	村・教委・スポ協	

ファミリースポーツデー（社会体育館無料開放日）

開 催 日	4/13	4/27	5/11	5/25	6/8	6/22	7/13	7/27	9/7	9/21	10/12	10/26	11/23
利用者数	14人	23人	12人	2人	4人	22人	11人	10人	8人	6人	18人	8人	20人
開 催 日	12/7	12/21	1/11	1/25	2/8						合計	前年	前年比
利用者数	21人	17人	10人	29人	26人						261人	566人	46.1%

イ. 対外行事

大会・行事名	期日	参加者数	対前年	主催・主管	備 考
第29回長野県市町村対抗駅伝競走大会	4/27	9人	±0人	長野県・県教委	総合38位
第15回長野県市町村対抗 小学生駅伝競走大会	4/27	6人	±0人	長野県・県教委	総合32位
スポーツチャレンジDAY	6/16	2チーム	±0人	諏訪地方スポーツ 推進委員会	茅野市総合 体育館
第70回諏訪地方陸上競技選手権大会	9/1	17人	4人	諏訪地方教委 連絡協議会	茅野市運動公園 陸上競技場
第48回南諏親善スケート大会	1/11	13人	3人	教委・スポ協	茅野市運動公園 国際スケートセンター
第69回諏訪地方スケート大会	2/11	14人	3人	諏訪地方教委 連絡協議会	茅野市運動公園 国際スケートセンター

(8) 令和元年度社会体育館利用状況

場所・種別 月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	行事 教室 等	総合計	前年度 利用数	前年比	
体育室	一 般	1,127	723	729	844	959	737	573	584	633	507	705	613	8,734		8,734	6,771	129.0%	
	保・小中生	953	1,410	2,770	4,659	1,670	1,863	1,114	1,151	1,732	2,149	2,544	552	22,567		22,567	16,715	135.0%	
	計	2,080	2,133	3,499	5,503	2,629	2,600	1,687	1,735	2,365	2,656	3,249	1,165	31,301		31,301	23,486	133.3%	
武道場	第一 (剣)	一 般	46	63	114	151	94	128	160	132	97	129	114	67	1,295		1,295	306	423.2%
		保・小中生	8	15	100	106	76	77	137	137	136	120	157	22	1,091		1,091	365	298.9%
	第二 (柔)	一 般	29	53	41	41	33	27	37	33	25	25	114	7	465		465	398	116.8%
		保・小中生	43	59	68	74	54	62	58	48	48	45	184	8	751		751	566	132.7%
	合 計		126	190	323	372	257	294	392	350	306	319	569	104	3,602		3,602	1,635	220.3%
卓球室	一 般	394	377	272	274	272	304	393	258	212	175	214	62	3,207		3,207	3,370	95.2%	
	保・小中生	265	310	239	206	325	282	404	192	200	205	196	26	2,850		2,850	2,946	96.7%	
	計	659	687	511	480	597	586	797	450	412	380	410	88	6,057		6,057	6,316	95.9%	
ミーティングルーム		86	35	26	72	17	75	34	0	0	9	53	93	500		500	417	119.9%	
トレーニングゲーム		13	14	27	22	24	21	27	26	40	23	22	1	260	23	283	257	110.1%	
ロビー		9	8	11	7	0	0	0	0	0	0	0	5	40		40	183	21.9%	
種別計	一 般	1,695	1,265	1,209	1,404	1,399	1,292	1,224	1,033	1,007	868	1,222	843	14,461	23	14,484	11,519	125.7%	
	保・小中生	1,278	1,802	3,188	5,052	2,125	2,284	1,713	1,528	2,116	2,519	3,081	613	27,299	0	27,299	20,775	131.4%	
社会体育館合計		2,973	3,067	4,397	6,456	3,524	3,576	2,937	2,561	3,123	3,387	4,303	1,456	41,760	23	41,783	32,294	129.4%	
御山マレット ゴルフ場	一 般	0	146	225	121	204	213	217	0	0	0	0	0	1,126		1,126	1,526	73.8%	
	保・小中生	0	54	167	141	231	135	137	4	0	0	0	0	869		869	1,304	66.6%	
	計	0	200	392	262	435	348	354	4	0	0	0	0	1,995		1,995	2,830	70.5%	
弓振農村広場	一 般	6	58	200	288	262	253	117	9	0	0	0	0	1,193		1,193	1,385	86.1%	
	保・小中生	26	54	27	50	78	104	86	59	0	0	0	0	484		484	800	60.5%	
	計	32	112	227	338	340	357	203	68	0	0	0	0	1,677		1,677	2,185	76.8%	
原村庭球場		42	201	226	250	220	192	112	47	0	0	0	0	1,290		1,290	2,866	45.0%	
合計		3,047	3,580	5,242	7,306	4,519	4,473	3,606	2,680	3,123	3,387	4,303	1,456	46,722	23	46,745	40,175	116.4%	

社会体育施設（屋外施設）
庭球場

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	総合計	前年度 利用数	前年比
42	201	226	250	220	192	112	47	0	0	0	0	1,290	1,290	2,866	45.0%

弓振農村広場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	総合計	前年度 利用数	前年比
一般	6	58	200	288	262	253	117	9	0	0	0	0	1,193	1,193	1,385	86.1%
保・小 学生	26	54	27	50	78	104	86	59	0	0	0	0	484	484	800	60.5%
小計	32	112	227	338	340	357	203	68	0	0	0	0	1,677	1,677	2,185	76.8%

マレットゴルフ場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小 計	総合計	前年度 利用数	前年比
村内	0	146	225	121	204	213	217	0	0	0	0	0	1,126	1,126	1,526	73.8%
村外	0	54	167	141	231	135	137	4	0	0	0	0	869	869	1,304	66.6%
計	0	200	392	262	435	348	354	4	0	0	0	0	1,995	1,995	2,830	70.5%

学校開放施設

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	行事等	総合計	前年度	前年比
小学校	体育館	186	24	6	0	0	93	26	37	213	472	505	0	0	1,562	2,460	63.5%
	校 庭	460	418	743	1657	218	225	200	271	101	0	29	77	0	4,429	3,584	123.6%
中学校	体育館	42	41	164	274	243	150	542	219	172	146	230	4	0	2,227	2,257	98.7%
	校 庭	0	0	33	45	0	4	0	0	0	0	0	0	0	82	115	71.3%
スケート場（2日）		—	—	—	—	—	—	—	—	—	621	—	—	—	621	7,165	8.7%
合 計		688	483	946	1976	461	502	768	527	486	1,239	764	81	0	8921	15,581	57.3%

(9) 社会体育施設の概要

ア、教育課が管理する施設

- ① 社会体育館
 - 体育館アリーナ 37m×26m ギャラリー付
 - ・メインバスケットコート 1面
 - ・サブバスケットコート 2面
 - ・メインバレーコート 1面
 - ・サブバレーコート 3面
 - ・テニスコート 1面
 - ・バドミントンコート 4面
 - 卓球場 16.50m×26.63m
 - ・バウンドテニス場（兼用）4面
 - 第1武道場（剣道・空手）15.19m×12.5m
 - 第2武道場（柔道）90畳
 - トレーニング室（SER コンビネーションマシン付）
- ② 原村庭球場 2面
- ③ 弓振農村広場グラウンド 10,159 m²
 - ゲートボール場 2面
- ④ 御山マレットゴルフ場 36ホール 総距離 2,170m
- ⑤ 学校開放施設 小中学校体育館・グラウンド

イ、その他のスポーツ施設

- ① もみの木荘屋内ゲートボール場 2面
 - 多目的グラウンド 12,000 m²
- ② 室内農村公園・多目的広場 2,884 m²
- ③ 原村八ヶ岳自然文化園
 - ・ミニゴルフ 27ホール 10,000 m²
 - ・マレットゴルフ 18ホール 25,000 m²
 - ・サイクリングコース
 - ・フィールドアスレチック
 - ・グレスデンスキー場 190m 492 m²
- ④ 払沢農村交流施設
 - ・多目的広場 3,500 m²
 - ・ゲートボール場 3面
- ⑤ 南原運動広場
 - ・多目的広場 3,300 m²
- ⑥ 深山農村公園
 - ・多目的広場



体育館アリーナ



御山マレットゴルフ場

7 文化財事業

(1) 令和2年度事業計画

文化財を国民共有財産として、後世に伝えることが私たちの課題である。文化財の保護と活用を図り村民の文化的向上に資するとともに、埋もれている文化財の早期発見を推進する。

《事業計画概要》

- ① 文化財の指定と保護
- ② 文化財パトロール
- ③ ミヤマシロチョウの保護と監視

原村郷土館

民俗資料は、先人たちが日々使用していた生活に密着した道具で、当時の生活を知る上で極めて重要な役割を持っているが、生活様式の変化に伴い無くなりつつある。その知恵の結集ともいえる民俗資料の収集と保護を行い、それらを活用する中で村民に親しまれる郷土館にしていきたい。

原村郷土館は、中新田区の伊藤米之助氏宅を移築したもので、この地方の一般的なものである。平成14年度からこの民家で機織の体験学習を行っている。また、家財道具と農具なども展示しているが充実したものではない。土蔵は役場から、藁打ちは柏木区から移築したものである。また、土蔵には原村に多く見られる鍔絵を復元して、鍔絵のPRを広く行い、原村の活性化につなげたい。

原村民俗資料展示室は、この地方の生業の一つであり、農家の現金収入源として、盛んに行われてきた養蚕に関する用具を中心に、繭から糸を採る家内製糸用具、布を織る機織用具などを展示している。

まてのくらは、原村役場の書庫として使われていた土蔵を昭和50年代に移築し、平成28～29年度にかけて、なまこ壁と正面入り口の上に「稲穂と米俵」、水切り上の帯部に「ぶどうと蔓」・「竹と米粒をついばむ雀」、丑鼻には「宝づくし」と「恵比寿大黒」の鍔絵を施した。また、鍔絵等を展示する内装工事を行い、原村の鍔絵を全国に発信する施設として改修を行った。

村民は土蔵の主な用途として米倉として使い、節約をしてまめに働き、もったいない精神=何事もまてにして生活をしてきました。そのことが現在の村の発展につながっていることから、村民が以前から使っている方言でまてという言葉盛り込み「まてのくら」として命名した。1階には鍔絵を、2階には一般的な農家の収蔵品を展示している。

平成18年度に住民協働で整備を実施したが、これからも環境整備を続け、住民中心の活用を進めて行きたい。

《事業計画概要》

- ① 民俗資料の収集と公開
- ② 機織・農耕具の体験学習、講座の開催
- ③ まてのくら屋根葺き替え工事

阿久遺跡と埋蔵文化財保護

八ヶ岳西麓に展開する原村は、縄文の故郷とか遺跡の宝庫といわれ、村内には98遺跡が分布している。代表的なものは国史跡の阿久遺跡や村史跡の臥竜遺跡である。

発掘調査を通してわかってきたことの概略を述べると、原村にまず人々が住みはじめたのは、今から約30,000年前の旧石器時代からである。該期の弓振日向遺跡は県内でも最古に属する遺跡で、この頃の人たちは、黒曜石で作った道具を使い、狩猟生活をしていたといわれている。

約16,000年前に縄文時代がはじまるが、これまでの生活に土器という煮沸具が普及したことにより、生活は安定してきたようである。村内からも早創期と早期の土器破片や石器は発見されているが、未だ住居址の発見には至っていない。前期の阿久遺跡は、中央自動車道西宮線建設に先立つ発掘調査（昭和50～53年）で、貴重な遺構の発見が相次ぎ「前期縄文時代観の転換」といわれたように、極めて高い水準の文化を持っていたことが判明し、昭和54年に国の史跡に指定された。

中期に入ると遺跡は急激に増加し、大石・前尾根・居沢尾根・臥竜などの大規模な遺跡が見られるようになる。土器の製作技術は向上し豪華で力強く、「縄文神の国」で作られた土器には、顔面や蛇体などの信仰的要素が強い立体的な把手で加飾されたものが多くなる。また、器種分化も進み有孔罎付土器（酒造具）・台付土器（供献具）・釣手土器（ランプ）なども作られている。これは、当時の生活が安定していた事を物語っている。中期も後半になると、石棒・石壇（祭壇）・埋甕（胎盤を埋める）などの祭祀施設が屋内に持ち込まれてくるが、土器は退化が進み、単純な文様の深鉢が作られるだけで、八ヶ岳山麓に花開いた中期縄文文化は失われてくる。後期になると、関東や東北地方の影響が顕著にみられ、土器は薄手で文様も簡素なものばかりで、遺跡は急激に減少している。晩期の土器と石器は本当に少なく、確実な遺跡は確認できない。その要因は、寒冷化に伴う生産力の低下が大きかったと考えられている。

弥生時代は3遺跡が確認されているだけであり、次の古墳時代は未だ遺跡は確認できない。平安時代の後半になると再び遺跡数は増え集落も出現するが、極めて短期間のことであり、当時の技術では水稲農耕は無理だったのかもしれない。中世は、陥し穴を多くの遺跡で発見しているが、集落址の発見には至っていない。阿久遺跡の南外れからは大掛かりな溝址が出土したが、構築理由はわかっていない。

原村埋蔵文化財収蔵庫は、発掘調査で出土した土器や石器を保管収蔵している。施設の性格上、一般公開はしていないが小学生・中学生をはじめ研究者等の見学に便宜をはかり、村の人たちにも見る機会をもうけている。

なお、土器・石器の一部は原村歴史民俗資料館や原村役場村民広場で公開している。

《事業計画概要》

- ① 村内遺跡の保護と啓蒙
- ② 阿久遺跡・臥竜遺跡の整備と管理
- ③ 発掘調査と報告書の作成
- ④ 出土遺物の再整理
- ⑤ 埋蔵文化財啓発事業
- ⑥ 八ヶ岳定住自立圏資料館連携事業企画展「捕る・採る・摂る ～山麓の縄文食～」

(2) 令和元年度事業の概要

- ① 文化財パトロール
○村内にある村指定天然記念物等のパトロールを行ない、菖蒲沢区にある「からかさ松」は枝の剪定を実施。村指定天然記念物は4本の樹木があるが、すべて老木で今後、枯死しないように見守る必要がある。
- ② ミヤマシロチョウの保護と監視
○「原村ミヤマシロチョウの会」と共に生息環境整備の枝払いや、越冬巣個体数の調査等、地域の里山としてミヤマシロチョウだけに特化せず、多様な生物が生息する場を守ることを確認し生態調査等の保護活動を行なった。昨年度確認した越冬幼虫巣に袋かけを行い、保護を行った。越冬巣調査では越冬巣を見つけることができなかった。
- ③ 文化財防火デーの実施
○全国的に展開する「文化財防火デー」に合わせ、村指定文化財等を原消防署と共に巡回し、点検と所有者に対する啓蒙活動を行った。
- ④ 民俗資料の収集と公開
○新たに寄贈された民俗資料を調査し台帳の作成を行う。
- ⑤ 原村郷土館の開館（7月13日～9月29日の53日間）入館者 1,367名
○民家内での機織り体験、機織教室を行った。
・村内小学生対象の「裂き織りでトートバックを作ろう」や竹を使った「水鉄砲作り教室」を行った。

- ・「古時計交流会」や漆喰を使う「めざせ1000個！光る泥だんご作り」、「おやき作り」、「つまみ細工deリース作り」を行い、郷土館での時間を有意義に過ごす機会を増やすことが出来た。
- ・生活用具・農具などの民俗資料を花器として活用し草花を植栽する「民具を生けるPartⅡ」を開館日から9月末まで行い好評であった。
- 開館にあたり「ふるさと空間発信倶楽部」の皆様により、敷地内の草刈り・草取り等を実施した。
- 庭先でいんげん棚や野菜作りを行い、昔の面影を再現した。
- 平成18年度から試みたイラストによる民俗資料の用途解説等も好評であり、希望により説明絵葉書を実費配布し、好評を得た。
- ⑥ 阿久遺跡（国史跡）と臥竜遺跡（村史跡）の整備と管理
 - 臥竜遺跡の復原住居は、その修復に小学生をはじめ多くの村民の人たちが体験学習の一環として行ったもので、ボランティアで管理と補修を行っていただいているが、これからも皆で作った皆の家を大事にしていきたい。
 - 阿久遺跡は環境整備として、林床の刈払いを2回実施した。
 - 原村埋蔵文化財収蔵庫を希望により公開し、阿久遺跡等の出土遺物の説明を8組74名に行った。
- ⑦ 埋蔵文化財発掘調査と報告書の刊行
 - 久保地尾根遺跡（試掘調査） 令和元年7月17日～8月8日
農業基盤整備促進事業に先立つ緊急試掘調査
尾根南東部の傾斜地にて住居址などの遺構・遺物を発見することができた。
整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。
発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財95」を刊行した。
 - 久保地尾根遺跡（第16次） 令和元年9月24日～11月8日
農業基盤整備促進事業に先立つ緊急発掘調査
今回の調査で縄文時代中期後半の住居址及び小竪穴などを検出したことで、遺跡南東部の状況を知ることができた。
整理作業は、調査記録・記録写真の整理、報告書作成を行う。
発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財96」を刊行した。
- ⑧ 村内遺跡保存活用整備事業 平成31年4月1日～令和2年3月31日
 - 昭和50年～平成17年に発掘調査した、10遺跡の土器・石器・写真・図面等の整理を行い、遺物台帳や収蔵台帳の作成を行う。
 - 「原村文化財ガイドブック第9集」を作成し、全戸配布した。
 - 前尾根遺跡出土「顔面装飾付釣手土器」の愛称募集。令和2年1月4日から2月29日まで募集を行い、村内外から338件の応募があった。原村歴史民俗資料館運営協議会で選考を行い、「火の女神 フゥーちゃん」に決定。決定者には縄文イメージ御朱印帳・愛称名入り文具等の記念品を贈呈。また、応募者全員に記念缶バッジ・愛称入りクリアファイルをプレゼント。
 - 「火の女神 フゥーちゃん」の愛称入りクリアファイルを作成し、全戸配布した。
 - 展示ケースを購入し、原村役場村民広場に設置。広報はらで紹介した土器・石器等を展示
 - 復元してから30年程が経過した土器は、接着材の劣化が進み破損が懸念されるものも多く、それらの補修を行った。今後も続ける必要がある。
 - 「広報はら」で土器や石器の紹介をして、原村役場村民広場・原中学校・小学校に展示公開した。
 - ハケ岳美術館の展示替えを実施。
 - 平成29年までに村単事業で発掘調査した遺跡の整理作業が進んでいないため、調査記録・実測図・記録写真の整理、土器の復元を行なう。土器・石器は委託により実測を行ない報告書の作成を行う。
発掘調査報告書「原村の埋蔵文化財94」・「原村の埋蔵文化財97」を刊行した。
未刊行の報告書があり、また、土器・石器は膨大であり今後も続ける必要がある。

- ⑨ 埋蔵文化財啓発ジュニア教室
○ジュニア教室で土器づくりと弓矢づくりを行い、縄文時代への啓発を行った。
- ⑩ ハケ岳定住自立圏共生ビジョン資料館連携事業の共同企画展の開催
○共同企画展「ワンダフルジャーニー」展をハケ岳美術館・井戸尻考古館・北杜市考古資料館で開催。スタンプラリーを行い、缶バッジ等を配布。首都圏からの巡廻バスツアーを開催し、展示解説を実施。ミニシンポジウム「3市町村の連携展示ができるまで」を開催。
- ⑪ 原村文化財整理室移転事業
○平成30年度に原村文化財整理室の老朽化に伴い、旧JA柏木支所への移転が計画された。柏木支所は店舗のため、事務所及び整理作業を行えるよう改修工事が必要となることから、実施設計を実施。改修工事は令和元年5月15日から9月20日まで行い、9月25日に引渡しとなった。発掘調査が重なったため、10月28日から10月30日の期間に引越しを実施、11月1日から移転先での業務を開始した。
総事業費は33,012千円。内訳は、工事費（付帯工事を含む）30,264千円、設計監理費1,004千円、その他費用1,744千円となる。

(3) 指定文化財

(令和2年4月1日現在)

	区 分	名 称	指定年月日	所 在 地
国指定	史跡	阿久遺跡	昭54. 7. 2	柏木9325-9ほか
	特別天然記念物	カモシカ	昭30. 2. 15	地域定めず
	天然記念物	イヌワシ	昭40. 5. 12	地域定めず
	天然記念物	ヤマネ	昭50. 6. 26	地域定めず
県指定	県無形民俗文化財	諏訪大社の御柱祭り	平 6. 8. 15	原村ほか
	県天然記念物	ミヤマシロチョウ等10種	昭50. 2. 24	地域定めず
	県天然記念物	ホンシュウモモンガ	昭50. 11. 4	地域定めず
	県天然記念物	ホンドオコジョ	平30. 9. 27	地域定めず
村指定	村史跡	物見ヶ岡	昭48. 4. 1	柏木8347
	村史跡	臥竜遺跡	昭57. 3. 10	払沢5980 臥竜公園
	村史跡	關廬社（あきほしゃ）	昭58. 8. 30	室内11868-1ほか
	村史跡	伝承の地 菖蒲沢に 伝わる御射山道	平26. 10. 8	菖蒲沢10877-1 石祠含
	村有形文化財	彫刻「友愛」	昭53. 9. 4	払沢6585 原小学校
	村有形文化財	石仏「十三仏」	昭55. 11. 1	中新田13511-1 深叢寺
	村有形文化財	石仏「弁財天」	昭55. 11. 1	中新田13512 深叢寺
	村有形民俗文化財	回り舞台	昭58. 3. 8	中新田13419 津島社
	村無形民俗文化財	エーヨー節	昭56. 10. 23	原村
	村無形民俗文化財	コチャかまやせの節	昭56. 10. 23	原村
	村天然記念物	道祖神の桜	昭45. 4. 1	ハッ手2442
	村天然記念物	ひめばらもみ	昭47. 4. 1	払沢5980-ロ 臥竜公園
	村天然記念物	からかさまつ	昭47. 4. 1	菖蒲沢9891
	村天然記念物	津島社の大藤	昭47. 4. 1	中新田13418 津島社

指定解除

	区 分	名 称	指定年月日	解除年月日	備 考
村指定	村天然記念物	銀桜	昭45. 4. 1	平 2. 7. 19	枯死（柳沢）
	村天然記念物	やまもみじ	昭45. 4. 1	平 4. 3. 26	枯死（中新田）

(4) 原村教育委員会刊行報告書等

郷土の文化財シリーズ

- 1 平成元年 3月 棒道
- 2 平成 3年 3月 原村の道しるべ 付道路改修碑等
- 3 平成20年 3月 よみがえれ、八ヶ岳森林軌道
- 4 平成21年 3月 新田開発400年記念誌 郷土の歩み
- 5 平成26年 3月 原村の土蔵を彩る鍔絵
- 6 平成28年 3月 原村の石像文化財 ～ふるさとの心を巡って～

原村の埋蔵文化財シリーズ

- 1 昭和54年 3月 阿久遺跡（第5次発掘調査）
重要遺跡範囲確認緊急調査報告書
- 2 昭和60年 3月 花表原・中御射山西・中御射山東遺跡
県営畑地帯総合土地改良事業御射山地区埋蔵文化財包蔵地緊急試掘調査報告書
- 3 昭和61年 3月 御射山遺跡（第2次発掘調査）
御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
- 4 昭和61年 5月 弓振日向遺跡
遺跡範囲確認調査報告書
- 5 昭和62年 3月 向尾根遺跡（第1・2次発掘調査）
駐在所（第1次）・教員住宅（第2次）建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 6 昭和62年 3月 臼ヶ原遺跡
村道改良工事に伴う緊急調査報告書
- 7 昭和62年 3月 横道下遺跡
昭和54年度団体営土地改良総合整備事業に伴う緊急発掘報告書
- 8 昭和62年 3月 箕手久保遺跡
御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
- 9 昭和63年 2月 判の木東遺跡
御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
- 10 昭和63年 3月 恩膳遺跡
昭和62年度詳細分布調査報告書
- 11 昭和63年 3月 弓振日向遺跡（第2次発掘調査）
昭和61年度県営ほ場整備事業弓振地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 12 平成元年 3月 關盧沢遺跡
村道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書
- 13 平成元年 3月 恩膳西遺跡（第1次・第2次）
遺跡確認とライスセンター建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 14 平成元年 3月 金芳遺跡
昭和63年度県営ほ場整備事業弓振地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 15 平成元年 3月 姥ヶ原・下原山南・下原山北遺跡
諏訪南インター原村工業団地内遺跡確認調査報告書
- 16 平成元年 3月 雁頭沢遺跡（第3次）
住宅団地造成に伴う緊急発掘調査概報
- 17 平成 2年 3月 梨の木沢・中道通・御射山沢・梨の木沢西遺跡
御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
- 18 平成 2年 3月 姥ヶ原・下原山南・下原山北遺跡（第2次発掘調査）
諏訪南インター原村工業団地予定地内埋蔵文化財包蔵地発掘調査概報
- 19 平成 3年 3月 御射山道北・古屋敷西・堤之尾根遺跡
御射山地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査報告書
- 20 平成 4年 2月 長峰遺跡
平成3年度県営ほ場整備事業丸山地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 21 平成 5年 3月 雁頭沢（第4次）・下原山茂佐久保（第3次）遺跡
平成4年度住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 22 平成 5年 3月 御射山遺跡（第4次発掘調査）
配送センター建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 23 平成 6年 3月 雁頭沢遺跡（第5次）
住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 24 平成 6年 3月 雁頭沢遺跡（第6次・第7次）
宅地造成及び工場建設に伴う緊急発掘調査報告書

- 25 平成 6年 3月 宿尻遺跡
県営ほ場整備事業西部地区に伴う緊急範囲確認調査報告書
- 26 平成 6年 3月 阿久遺跡（第7次発掘調査）
平成5年度範囲確認調査報告書
- 27 平成 6年 3月 徳久利遺跡（第6次発掘調査）
富士見町道改良工事に伴う緊急発掘調査報告書
- 28 平成 7年 1月 恩膳西遺跡（第4次発掘調査）
堆肥センター建設に先立つ緊急発掘調査報告書
- 29 平成 7年 3月 裏長峰遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 30 平成 7年 3月 上居沢尾根遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 31 平成 7年 3月 土井平遺跡
平成4年度県営ほ場整備事業恩前地区に調査先立つ緊急発掘調査報告書
- 32 平成 7年 3月 程久保（第1・2次発掘調査）・恩膳西（第3次発掘調査）遺跡
平成4・5年度県営ほ場整備事業恩前地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 33 平成 7年 3月 居沢尾根遺跡（第5次発掘調査）
平成6年度県営ほ場整備事業原村西部地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 34 平成 7年 3月 宿尻遺跡（第2次発掘調査）
平成6年度県営ほ場整備事業原村西部地区に伴う緊急発掘調査報告書
- 35 平成 7年 3月 久保地尾根遺跡
住宅建設に伴う緊急発掘調査報告書
- 36 平成 8年 3月 阿久遺跡（第8次発掘調査）
送電線JR信濃境分岐線No.1～No.6間鉄塔建替工事に伴う緊急発掘調査報告書
- 37 平成 8年 3月 臥竜遺跡（第6次発掘調査）
貸店舗および共同住宅建設に先立つ緊急発掘調査報告書
- 38 平成 8年 3月 家前尾根遺跡
平成7年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 39 平成 8年 3月 中尾根遺跡
平成7年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報
- 40 平成 8年 3月 芝原尾根遺跡（第1・2次発掘調査）
平成7・8年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 41 平成 9年 3月 水掛平遺跡
平成7・8年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 42 平成 9年 3月 久保地尾根遺跡（第4・6次発掘調査）
平成8年度県営圃場整備事業原村西部地区および県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 43 平成 9年 3月 清水遺跡
平成8年度県営圃場整備事業原村西部地区および県営担い手育成基盤整備事業弘沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 44 平成10年 3月 南平遺跡発掘調査概報
原村の縄文遺跡がいまよみがえる
- 45 平成10年 3月 前尾根遺跡（第5次発掘調査）
平成9年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報
- 46 平成10年 3月 家下・關廬沢遺跡（第2次発掘調査）
平成9年度県営担い手育成基盤整備事業弘沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 47 平成10年 3月 雁頭沢遺跡（第8次発掘調査）
平成9年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 48 平成10年 3月 南原遺跡
平成9年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に伴う遺跡の範囲確認調査報告書

- 49 平成11年 3月 前沢・臼ヶ原・臼ヶ原西・臼ヶ原南遺跡
平成10年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 50 平成11年 3月 二枚田・追分沢・南長尾遺跡
平成10年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 51 平成11年 3月 中尾根頭遺跡
平成10年度県営担い手育成基盤整備事業払沢地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 52 平成12年 3月 臼ヶ原南遺跡（第1・2次）・前沢遺跡（第4次）・阿久遺跡（第9次）
平成11年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 53 平成12年 3月 南原遺跡（第2次発掘調査）
平成11年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 54 平成12年 3月 小払沢遺跡
平成11年度県営担い手育成基盤整備事業深山地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 55 平成12年 3月 原村の遺跡
平成12年 3月現在
- 56 平成13年 3月 阿久遺跡（第9次発掘調査）
平成11年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査概報
- 57 平成13年 3月 阿久遺跡（第10次発掘調査）
平成12年度県営圃場整備事業原村西部地区および県単河川改修工事に先立つ緊急発掘調査概報
- 58 平成13年 3月 居沢尾根遺跡（第7次発掘調査）
平成12年度県営圃場整備事業原村西部地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 59 平成13年 3月 家下遺跡（第3次発掘調査）
平成12年度県単道路改良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
- 60 平成14年 3月 二枚田遺跡（第2次） 久保地尾根遺跡（第7次）
平成13年度個人住宅建設に先立つ緊急発掘調査報告書
- 61 平成14年 3月 居沢尾根遺跡（第8次） 雁頭沢遺跡（第10次） 久保地尾根遺跡（第8次）
平成13年度中部電力東日本鉄道信濃境分岐線（No. 4～No.10）間電線高上げ工事鉄塔建設に先立つ居沢尾根遺跡緊急発掘調査・建売住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡緊急発掘調査・宅地造成に先立つ久保地尾根遺跡緊急発掘調査報告書
- 62 平成14年 3月 大石遺跡（第4次） 山の神遺跡（第2次）
平成13年度範囲確認調査報告書
- 63 平成15年 3月 塩水遺跡（第2次発掘調査） 柏木南遺跡（第2次発掘調査）
平成14年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 64 平成15年 3月 二枚田遺跡（第3次発掘調査）
平成14年度宅地造成に先立つ緊急発掘調査報告書
- 65 平成16年 3月 姥ヶ原遺跡 御射山北遺跡 裏の尾根遺跡
平成15年度住宅建設に先立つ姥ヶ原遺跡（第3次）・御射山北遺跡緊急発掘調査、診療所建設に先立つ裏の尾根遺跡確認調査報告書
- 66 平成16年 3月 前尾根遺跡（第6次発掘調査）
平成15年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 67 平成16年 3月 雁頭沢遺跡（第11次）
平成15年度工場および駐車場建設に先立つ緊急発掘調査報告書
- 68 平成17年 3月 比丘尼原北遺跡（第2・3次発掘調査）
平成13・14年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 69 平成17年 3月 比丘尼原遺跡（第2次発掘調査）
平成13年度県営圃場整備事業柏木地区に先立つ緊急発掘調査報告書
- 70 平成18年 3月 久保地尾根遺跡（第10次発掘調査）
平成17年度霊園及び宅地造成に先立つ緊急発掘調査報告書
- 71 平成19年 3月 雁頭沢遺跡（第12次） 前沢遺跡（第5次） 出寺平遺跡 二枚田遺跡（第4次）
平成18年度駐車場建設に先立つ雁頭沢遺跡第12次、個人住宅建設に先立つ前

- 72 平成20年 3月 沢遺跡第5次、出寺平遺跡、二枚田遺跡第4次緊急発掘調査報告書
雁頭沢遺跡（第13次）久保地尾根遺跡（第11次）出寺平遺跡（第2次）二枚田遺跡（第5次）
平成19年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第13次、久保地尾根遺跡第11次、出寺平遺跡第2次、遺跡範囲確認に伴う二枚田遺跡第2次緊急発掘調査報告書
- 73 平成21年 1月 宮ノ下遺跡（第3次発掘調査）
平成20年度集合住宅建設に先立つ宮ノ下遺跡第3次緊急発掘調査報告書
- 74 平成22年 3月 ワナバ・栃の木遺跡（第1次発掘調査）
平成21年度「弘沢上住宅団地」造成工事に先立つ緊急遺跡範囲確認調査報告書
- 75 平成23年 3月 出寺平遺跡（第3次）久保地尾根遺跡（第13次）南尾根遺跡（第1次）二枚田遺跡（第6・7次）
平成22年度個人住宅建設に先立つ出寺平遺跡第3次・久保地尾根遺跡第13次・南尾根遺跡第1次・二枚田第6・7次緊急発掘調査報告書
- 76 平成24年 3月 大横道上遺跡（第3次）久保地尾根遺跡（第14次）雁頭沢南遺跡（第1次）山の神遺跡（第3次）ワナバ遺跡（第2次）二枚田遺跡（第8次）
平成23年度個人住宅建設に先立つ大横道上遺跡第3次・久保地尾根遺跡第14次・雁頭沢南遺跡第1次・山の神遺跡第3次・ワナバ遺跡第2次・二枚田遺跡第8次緊急発掘調査報告書
- 77 平成24年 3月 南尾根遺跡（第2次）向尾根遺跡（第3・4次）
平成23年度携帯電話中継局建設に先立つ南尾根遺跡第2次緊急発掘調査、駐車場造成に先立つ向尾根遺跡第3・4次緊急発掘調査報告書
- 78 平成24年 3月 大横道上遺跡（第4次発掘調査）
平成24年度個人住宅建設に先立つ大横道上遺跡第4次緊急発掘調査報告書
- 79 平成26年 3月 久保地尾根遺跡（第15次発掘調査） 二枚田遺跡（第9次発掘調査）
平成25年度個人住宅建設に先立つ久保地尾根遺跡（第15次発掘調査）二枚田遺跡（第9次発掘調査）緊急発掘調査報告書
- 80 平成26年 3月 大石遺跡（第6次発掘調査）
平成25年度太陽光発電設備設置に伴う進入路拡幅工事に伴う緊急発掘調査報告書
- 81 平成27年 3月 赤羽遺跡（第1次）中尾根遺跡（第1次）
平成26年度個人住宅建設に先立つ赤羽遺跡（第1次）中尾根遺跡（第1次）緊急発掘調査報告書
- 82 平成27年 3月 前沢遺跡（第6次）
平成26年度前沢遺跡（第6次）作業所建設に先立つ緊急発掘調査報告書
- 83 平成27年 3月 家裏遺跡（第1次）
昭和59年度村道改良に先立つ家裏遺跡第1次緊急発掘調査報告書
- 84 平成28年 3月 山の神上遺跡（第1～3次発掘調査）
昭和45年・平成7年度 村道改良に先立つ山の神上遺跡第1・3次緊急発掘調査
昭和56年度車庫建設に先立つ山の神上遺跡第2次緊急発掘調査報告書
- 85 平成28年 3月 雁頭沢遺跡（第15次発掘調査）
平成27年度 宅地造成に先立つ雁頭沢遺跡第15次緊急発掘調査報告書
- 86 平成28年 3月 原山遺跡（試掘） 阿久遺跡（試掘）
平成26年度太陽光発電設置施設に伴う造成工事に先立つ原山遺跡緊急試掘調査・平成27年度資材置き場・駐車場造成に先立つ緊急試掘調査報告書
- 87 平成29年 3月 原村の遺跡
- 88 平成29年 3月 大横道上・ワナバ遺跡（第7次） 徳久利遺跡（第8次）
宮平遺跡 雁頭沢遺跡（第16・17次）家裏遺跡（試掘）
平成28年度個人住宅建設に先立つ大横道上・ワナバ遺跡第7次、徳久利遺跡第8次、宮平遺跡、雁頭沢遺跡第16・17次緊急発掘調査、村道改良に先立つ家裏遺跡緊急試掘調査報告書

- 89 平成29年 3月 比丘尼原北遺跡（第4次）
平成28年度特別高圧線鉄塔建て替えに先立つ比丘尼原北遺跡第4次緊急発掘調査報告書
- 90 平成29年 3月 徳久利遺跡（第4次）
昭和59年度土砂採取及び造成に先立つ徳久利遺跡第4次緊急発掘調査報告書
- 91 平成30年 3月 雁頭沢遺跡（第18次） 家裏遺跡（第3次）
二枚田遺跡（試掘） 前沢遺跡（試掘）
平成29年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第18次、家裏遺跡第3次緊急発掘調査、駐車場造成に先立つ二枚田遺跡、宿舍造成に先立つ前沢遺跡緊急試掘調査報告書
- 92 平成31年 3月 久保地尾根遺跡（第1・3・5・9次）雁頭沢遺跡（第1・2・9次）宮ノ下遺跡（第1・2次）
昭和25年度、平成7・8・14年度久保地尾根遺跡村道改良に先立つ緊急発掘調査、昭和54・57年度、平成10年度雁頭沢遺跡村道改良に先立つ緊急発掘調査、昭和57年度宮ノ下遺跡村道改良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
- 93 平成31年 3月 雁頭沢遺跡（第19・20次）栃の木遺跡（試掘） 追分沢遺跡（試掘）
平成30年度個人住宅建設に先立つ雁頭沢遺跡第19・20次緊急発掘調査、太陽光発電施設設置に先立つ栃の木遺跡、資材置場造成に先立つ追分沢遺跡緊急試掘調査報告書
- 94 令和2年 3月 山の神遺跡（第1次）大石遺跡（第2・3次）大石西遺跡（第1次）ヲシキ遺跡（第2・3次）居沢尾根遺跡（第4・6次）阿久遺跡（第6・11次）
前沢遺跡（第1・2次）
昭和54年度山の神遺跡ハヶ岳西南麓遺跡群分布調査に先立つ試掘調査・平成3年度大石西遺跡ゴルフ練習場建設に先立つ範囲確認発掘調査報告書
平成2・3年度大石遺跡、平成10・11年度ヲシキ遺跡、昭和56年・平成11年度居沢尾根遺跡、昭和54年・平成13年度阿久遺跡、昭和54・61年度前沢遺跡村道改良事業に先立つ緊急発掘調査報告書
- 95 令和2年 3月 久保地尾根遺跡（試掘調査）
令和元年度農業基盤整備促進事業に先立つ久保地尾根遺跡緊急試掘調査報告書
- 96 令和2年 3月 久保地尾根遺跡（第16次）
令和元年度農協基盤整備促進事業に伴う久保地尾根遺跡第16次緊急発掘調査報告書
- 97 令和2年 3月 大石遺跡（第7次）
平成29年度駐車場造成に伴う大石遺跡第7次緊急発掘調査報告書

その他

- 1 昭和57年 7月 原村埋蔵文化財収蔵庫落成記念
阿久・大石・居沢尾根遺跡等出土土器展
- 2 昭和59年 3月 史跡 阿久遺跡保存整備基本計画書
- 3 昭和54年12月 阿久 No.1
- 4 昭和58年 3月 阿久 No.2
- 5 平成20年 3月 国史跡阿久 私たちが未来に伝えるものは何か
- 6 平成20年 3月 原村郷土館 癒しの空間がここにある
- 7 平成25年 3月 原村文化財散策マップ
- 8 平成27年 3月 原村文化財ガイドブック第1集
セロリンと行く原村良所 ハヶ岳山麓に花咲いた縄文文化
- 9 平成28年 3月 原村文化財ガイドブック第2集
セロリンと行く原村良所 ハヶ岳山麓に住んだ縄文の人々
- 10 平成29年 3月 原村文化財ガイドブック第3集
セロリンと行く原村良所 自然と共に生きた縄文人
- 11 平成30年 3月 原村文化財ガイドブック第4集
セロリンと行く原村良所 あなたの知らない縄文土器の世界
- 12 平成30年 3月 原村文化財ガイドブック第5集
セロリンと行く原村良所 原村の土蔵を彩る鍔絵
- 13 平成31年 3月 原村文化財ガイドブック第6集
セロリンと行く原村良所 原村の文化財散策ガイドブック
- 14 平成31年 3月 原村文化財ガイドブック第7集
セロリンと行く原村良所 国史跡 阿久遺跡 No.4
- 15 平成31年 3月 原村文化財ガイドブック第8集
セロリンと行く原村良所 星降る中部高地の縄文世界を彩る土の芸術
- 16 令和2年 3月 原村文化財ガイドブック第9集
フーちゃん和行く原村良所 縄文人の思いが詰まった土の造形品

8 原村歴史民俗資料館（ハヶ岳美術館）

(1) 運営方針

原村出身の彫刻家清水多嘉示の生涯にわたる作品を中心に、同村出身の書家津金雀仙の作品、および村内遺跡から出土した縄文時代の考古学資料を展示することにより、村民はもとより原村を訪れる人々に社会教育の場を提供します。また地域の文化施設として、年間を通して各種の企画展を開催し、常設展と併せて来館者に様々な美術作品に親しむ機会を提供し、芸術および考古学の情報発信をおこないます。さらに建築作品としても重要な村野藤吾設計の美術館建物の維持管理に努め、その価値を広く紹介し、美術館周辺に広く自生する多くの植物を保護し、訪れる人々が豊かな自然環境の中で芸術作品に親しめるよう努力します。

(2) 令和2年度（2020）ハヶ岳美術館展覧会年間予定

月	コレクション展			日数	企画展示室 A	企画展示室 B
4	清水多嘉示 彫刻・絵画展	津金雀仙 書作品	考古資料	39 日間	開館40周年新収蔵 清水多嘉示 石膏原型展 4/1（水）～7/5（日）（当初会期 ※4/5～5/31休館） 6/1（月）～7/5（日）	
5						
6						
7				70 日間	開館40周年新収蔵 清水多嘉示 石膏原型展 第2期 7/6（月）～9/13（日）	
8						
9				79 日間	第8回 あなたが選ぶ信州の裂織展 9/19（土）～12/6（日）	
10						
11						
12				98 日間	ハヶ岳山麓の野鳥 写真展 12/12（土）～3/25（木）	
1						
2						
3						

開館日: 286日

休館日: 展示替え期間（9/14（月）～9/18（金）、12/7（月）～12/11（金）、3/26（金）～4/2（金）

年末年始（12/29～1/3）

※感染防止対策の為、4/5（日）～5/31（日）臨時休館

(3) 令和元年度入館者数及び売店販売実績

令和元年度（平成31年度）の美術館企画展は現代日本画の旗手間島秀徳の「アースダイビング展」、写真と模型を合体させた新ジャンル糸崎公朗の「フォトモの世界展」、自然光で土器を撮るランドスケープ写真家津田直の縄文写真展「湖の目と山の皿」、原村村内出土の県宝土器群を一堂に集めた「県宝 縄文のアーティスト展」の4企画展に取り組みました。

【入館者数】

- ・有料入館者数は5,085人（大人4,981人、小人104人）で前年対比80.5%（1,232人減）。
入館料収入は2,503,270円で前年対比77.7%（717,260円減）でした。
- ・ニューフェイスの新しい感覚で春夏と新しいアートステージを展開しました。
春の出足は良かったのですが夏のフォトモは一般的になじみが薄く親しみにくかった面もあり、わかりやすい展示手法の研鑽とコミュニケーション努力が課題として残りました。4企画のうち秋冬は縄文キーワードの美の追求と新展示手法を試み反響も大きかったのですが、年を越して新型コロナウイルスの影響を受けました。
- ・県宝貸し出しに伴う常設展のみ開館（11月27日～12月1日）5日間の有料入館者は55人（うち12月1日クリスマスコンサート参加者44人）でした。

【売店収入】

- ・売店収入は1,110,445円で前年対比81%（256,890円減）。作家グッズに恵まれず品揃いが少なかつたうえに、高価なものも多かったため、振るいませんでした。

(4) 総収入

令和元年度の総入館料・売店売上に自力獲得した企画展協賛金を加えた総収入は4,049,107円と前年比78%、1,137,938円の減収でした

(5) 令和元年度実施事業

条例と運営方針に基づき、常設展示のほか4企画と52回の館内外のイベントを実施しました。

平成元年度 ハケ岳美術館企画展・イベント参加者数

展覧会名	会 期	関連イベント	開催日	参加者数	有 料 入館者数	入館者数
間島秀徳 Earth Diving展	4/6(土)～ 6/30(日)	トークイベント 「行為／空間／身体 間島秀徳の絵画キネシスkinesisの現在」	4月27日(土)	28	1,394	1,898
		絵画ワークショップ 「水墨と色彩でひろがる世界ー大きな紙に描いてみよう」	4月28日(日)	21		
		アーティストトーク 間島秀徳「自作を語る」	5月12日(日)	21		
		学芸員によるギャラリートーク	5月4日(土)	3		
糸崎公朗 フォトモの世界展	7/6(土)～ 9/16(月・祝)	工作ワークショップ 「Googleストリートビューで飛び出すはらむらフォトモ」	7月6日(日)	0	1,979	2,432
		アーティストトーク 「糸崎公朗:カメラのない写真家-現代写真の最前線」	7月7日(土)	9		
		工作ワークショップ 「フォトモで歩くハケ岳美術館と散策路」	8月10日(土)	5		
		工作ワークショップ 「Googleストリートビューで飛び出すはらむらフォトモ」	9月14日(土)	0		
津田直写真展 湖の目と山の皿	9/21(土)～ 11/24(日)	ツアー 「写真家・津田直と巡るハケ岳山麓の縄文ツアー」	10月26日(土)	20	993	1,154
		スライドショー&トークイベント 「Jomon Fieldwork in ハケ岳」	11月16日(土)	35		
常設展のみ	11/27(水)～ 12/1(日)	クリスマスコンサート	12月1日(日)	45	44	83
県宝 縄文の アーティスト展	12/7(土)～ 3/22(日)	連続講座～星降る里の縄文講座①	1月26日(日)	38	675	928
		連続講座～星降る里の縄文講座②	2月2日(日)	45		
		連続講座～星降る里の縄文講座③	3月15日(日)	0		
		阿久遺跡収蔵庫見学ツアー	※延期 12月14日(土)	17		
		縄文土器の拓本カレンダーづくり	12月22日(日) 1月15日(水)	0		
		ギャラリートーク	1月18日(土)	9		
		縄文土器スケッチ会	2月13日(木) 3月8日(日)	8		
		カラフルな縄文文様のペーパーウェイトづくり	2月13日(木) 3月8日(日)	5		
		粘土でつくる縄文文様の壁飾り	3月1日(日)	3		
その他イベント		原中美術部向けワークショップ「宝石せっけん作り」	6月8日(土)	28		
		原中学校 ブロンズクリーニング	7月17日(水)	60		
		ブロンズクリーニング清水生誕記念	7月26日(金)	42		
		「清水多嘉示の作品と故郷を巡るツアー」	7月27日(土)	28		
		はらむら塾講演「口語短歌の世界」	6月13日(木)	17		
		原村よいしょ祭り ワークショップ	8月17日(土)	41		
		はらむら塾講演「八右衛門家のはなし」	8月18日(日)	38		
		ハケ岳美術館 森のシンフォニー チェロ&キーボード サロンコンサート	8月24日(土)	75		
		「日本の古層を探る」講演会	9月23日(月)	33		
		建築講演会&ガイドツアー	10月5日(土)	22		
		ワンダフルジャーニー 巡会バスツアー	8月17日(土) 11月23日(土)	44		
		ジュニア教室「森のこうさくしつ」	9月7日(土)	24		

展覧会名	会 期	関連イベント	開催日	参加者数	有 料 入館者数	入館者数
その他イベント		原小図エクラブ ワークショップ	5月30日(木) 6月6日(木) 8月29日(木) 9月26日(木) 10月3日(木) 10月24日(木)	108		
		はらむら村民文化祭 ワークショップ	11月9日(土) 11月10日(日)	90		
		ワークショップ「クーゲルバウムづくり」	12月8日(日)	8		
		ワークショップ「クリスマスグッズづくり」	12月7日(土) 12月15日(日) 12月18日(水)	29		
		クリスマスギャラリー	12月1日～25日	37		
		まちゼミ「カンタン☆キレイ宝石せっけんづくり」	2月8日(土) 2月16日(日) 2月21日(金)	19		
		原中学校吹奏楽部八ヶ岳美術館コンサート	中止	0		
		原小学校合唱団・リコーダー合奏団コンサート	中止	0		
		原中学校ブロンズ除幕式	3月23日	78		
		合計(名)		1,133	5,085	6,495

① 清水多嘉示現存「石膏原型」のほぼすべて収蔵実現（国内唯一）

- ・清水多嘉示の現存する石膏原型は、これまで八ヶ岳美術館、武蔵野美術大学、遺族青山敏子氏（武蔵野美術大学に寄託）の三者に分散収蔵されていましたが、本年度、武蔵野美術大学・青山敏子氏からの寄贈を受け、清水多嘉示現存石膏原型229点のうち3点を除く226点が八ヶ岳美術館に集約収蔵保管されることになりました。残る3点は武蔵野美術大学所蔵「みどりのリズム」1点、同大黒川弘毅教授所蔵「ブックエンド」1点、群馬県立美術館所蔵「ギリシャ婦人像」1点。いずれも借用可能。
- ・これによりブロンズ像も含め、全国に散在する清水彫刻作品の全容を当美術館で直に見ることが可能となり、清水作品の系譜、彫刻の時代的发展形態など近代彫刻史の研究にも大きく寄与することになりました。
- ・「作家の手にいちばん近い」石膏原型は、八ヶ岳美術館の館内展示のほか収蔵庫特別公開といった常設企画展の展示方法と質を格段にレベルアップさせました。通常の石膏原型はブロンズ化されたのち壊されてしまうのが一般的ですが、ほぼすべての石膏原型が清水の信頼が厚く専属的に鑄造を任された岡本鑄造（東京）に奇跡的に保管されていたことと、岡本鑄造廃業に伴いそのすべてが協調関係にある三者に分散保管されて、そのまま奇跡に残った意義は大きく、そのすべてが八ヶ岳美術館に一元保管された特異性は美術館のグレードをさらに高め、武蔵野美術大学、遺族との三者連携協調を一層強固にするものであります。
- ・令和元年度終盤に石膏原型等の寄贈手続き・搬入組立がすべて終り、新年度（令和2年度）企画展「開館40周年記念 新収蔵 清水多嘉示 石膏原型の全貌」の公開展示につなげています。

② 新しい視点での展示模索の端緒

- ・元年度企画展の半分は「縄文」企画でした。縄文土器を自然の闇と光の中で時間をかけて露光する津田直写真展は、アクリルマウントで平面展示をする新たな縄文土器のアートステージで注目されました。「縄文のアーティスト展」は原村内出土18点の県宝土器の紹介を主眼に、講演などを通して縄文土器を「美」から追求する試みで、このユニークな村野建築空間の中に同居する彫刻作品も含めて、縄文と芸術作品の美のコラボ空間を展開する端緒の年となりました。

③ 博学（美術館・学校）連携の美術教育推進

- ・毎年1体ずつ卒業制作ブロンズ作品が設置される「彫刻の森」は全国に誇る子どもたちのアートステージです。1980年八ヶ岳美術館開館と併せてつくられたこの空間を大切に守りながら原小学校・原中学校の児童・生徒との交流が年々濃密になってきています。
- ・「原村を知る」キャリア教育の一環として位置づけれた八ヶ岳美術館見学（5月30日）は1年生と3年生の全生徒が訪れ、館長・館員とともに彫刻の森鑑賞、館内見学、対話型鑑賞と密度の濃い半日を過ごしました。原小のころから美術館コンサートやジュニア教室、企画展イベントなどで慣れ親しんだ児童が中学生となり、1年生のころからブロンズ卒業制作を視野におさめ、3年生はブロンズ制作への思いをイメージする美術教育の貴重な機会となりました。
- ・このほか美術館スタッフの出張ワークショップ「宝石石けんづくり」（原中美術部）、原中ブロンズクリーニング、原小ワークショップ（図工クラブ）も好評でした。
- ・原小学校合唱団・リコーダー合奏団と原中学校吹奏楽部の恒例八ヶ岳美術館コンサートは、新型コロナ感染対策のため、やむなく中止せざるを得ませんでした。

④ ブロンズクリーニングや講演会など幅広い地域連携の推進

- ・八ヶ岳美術館の強みは、武蔵野美術大学彫刻学科（黒川教授）・遺族・美術館の三者連携協力活動とその太いパイプにあります。
その博学連携を生かして、2日間にわたる諏訪の文化振興プロジェクト共催イベント「清水多嘉示の世界を訪ねて」の構成・プロデュース・進行を行いました。
清水多嘉示屋外作品ブロンズクリーニング（7月26日）に続いて翌27日は美術館—清水多嘉示の墓と生家周辺のフィールドワーク「清水多嘉示の作品と故郷をめぐるツアー」で八ヶ岳山麓を下り、ゆいわーく茅野で黒川弘毅武蔵野美大彫刻学科教授の講演会「諏訪が育んだ清水多嘉示」、講師と青山敏子氏を囲む会食会を開きました。県内はもとより東京方面からの参加者も含めて盛大に開催できました。
マイクロバス提供など原村、原村教育委員会の協力を得て、武蔵野美術大学長野校友会や地域団体との協働が図られました。
- ・清水多嘉示を顕彰するために結成されたブロンズクリーニング隊の活動は横浜や埼玉など県外者や地元の子供たちも親子連れで参加し、約40人が屋外彫刻のメンテナンスを行いました。
- ・ブロンズクリーニング活動のほか、ジュニア教室「森のこうさくしつ」、クリスマスグッズづくり、はらむら塾「口語短歌の世界」「原村中新田 八右衛門家のはなし」、特別講演会「日本の古層を探る」、また目黒区美術館と連携した建築ガイドツアー「村野藤吾最晩年の建築作品八ヶ岳美術館建築現場の苦労話」、このほか原村よいしょ祭り、はらむら村民文化祭には美術館も出店しワークショップをおこないました。

(6) 広報宣伝

- ・新聞など既存メディアのほかに、美術館特集を組む雑誌媒体にも力を入れ、道の駅など広域保存版配布なども試行的に広げています。
一方、作家と付き合いの深い雑誌の編集長や記者が特集や紹介記事を書いてくれるなど深掘りしたメディア展開ができました。
- ・八ヶ岳美術館のホームページを一新してビジュアルにしたほか、スタッフがInstagramやフェイスブックなどSNSにアップする美術館の風景や草花や文章に多くのファンが関心を寄せてくれています。このツールをつかってさらに美術館の魅力を伝えていきます。

(7) 経費削減

- ・新しい顔ぶれで各スタッフのスキルと個性を伸ばせる新シフトとワークシェアリングを進めています。

(8) 施設整備・営繕管理

- ・石膏原型の一括寄贈によって手狭になった収蔵庫内に、教育委員会によって、収蔵棚4基と作品収納用の移動式階段を設置していただきました。これにより、収納スペースが格段に容量拡大され、整頓された空間で収蔵庫ツアーイベントもできるようになりました。
- ・古くなった大駐車場入り口の大看板が台風や豪雨で倒れ掛かり、新調していただきました。
- ・土器ケースほか館内のLED化を進めています。



寄贈された清水多嘉示の石膏原型が搬入され、黒川武蔵野美術大学教授の指導で全作品の組み立て・収納が完了した



小平奈緒さんも訪れた間島秀徳
アースダイビング展



新手法の土器発掘時を想像しながら見る
津田直展のアクリルマウント平面展示



人気だった土器収蔵庫ツアー

9 原村図書館

(1) 原村図書館沿革

平成 5年 9月 1日	図書館検討委員会発足	平成 19年 4月	原小学校図書館とのネットワーク化
平成 6年 1月 25日	図書館建設についての答申書受理	6月 9日～10日	第11回図書館まつり
平成 7年 6月 1日	建設工事着手	平成 20年 6月 21日～22日	第12回図書館まつり
平成 8年 3月 21日	図書館本体完成引き取り	平成 21年 2月	1階西側に書庫整備
6月 20日	公園工事完了引き取り	6月 13日～14日	第13回図書館まつり
8月 2日	オープニングセレモニー（竣工式）	8月	第1次原村子どもの読書活動 推進計画策定
8月 3日	一般利用開始		
平成 9年 6月 19日～20日	第1回図書館まつり	平成 22年 6月 19日～20日	第14回図書館まつり
8月 28日	貸出し10万冊達成	平成 23年 6月 17日	貸出し150万冊達成
平成 10年 6月 20日～21日	第2回図書館まつり	6月 18日～19日	第15回図書館まつり
11月 4日	貸出し20万冊達成	平成 24年 6月 16日～17日	第16回図書館まつり
平成 11年 6月 19日～20日	第3回図書館まつり	平成 25年 6月 22日～23日	第17回図書館まつり
10月 15日	貸出し30万冊達成	平成 26年 4月	第2次原村子どもの読書活動 推進計画策定
平成 12年 4月	図書館システム更新 （LMO Ver5.0）	平成 26年 6月 21日～22日	第18回図書館まつり
6月 17日～18日	第4回図書館まつり	平成 27年 6月 23日	貸出し200万冊達成
11月 15日	貸出し40万冊達成	9月 17日	図書閲覧室LED照明工事完了
平成 13年 6月 2日～3日	第5回図書館まつり	11月 14日～15日	第19回図書館まつり
11月 22日	貸出し50万冊達成	平成 28年 11月 26日～27日	第20回図書館まつり
平成 14年 6月 1日～2日	第6回図書館まつり	平成 29年 4月	図書館システム更改
12月 21日	貸出し60万冊達成	9月 20日	事務室等LED照明工事完了
平成 15年 6月	原中学校図書館とのネットワーク化	10月 31日	図書館外壁改修工事完了
6月 7日～8日	第7回図書館まつり	11月 25日～26日	第21回図書館まつり
平成 16年 2月 7日	貸出し70万冊達成	平成 30年 6月 23日～24日	第22回図書館まつり
6月 5日～6日	第8回図書館まつり	令和 元年 6月 29日～30日	第23回図書館まつり
平成 17年 2月 20日	貸出し80万冊達成		記念講演 伊藤理佐さん
4月	図書館システム更新（LMO 2005）	令和 2年 4月	第3次原村子どもの読書活動 推進計画策定
6月 5日～6日	第9回図書館まつり		
平成 18年 1月 31日	貸出し90万冊達成		
6月 3日～4日	第10回図書館まつり		
	10周年記念講演会 「ハチの子リサちゃんによせて」 まんが家 伊藤理佐		
12月 1日	貸出し100万冊達成		

(2) 施設の概要

- (1) 所在地 諏訪郡原村12079番地1 TEL (0266) 70-1500
FAX 79-7000
- (2) 施設
- ① 敷地面積 4457㎡（公園含む）
 - ② 延床面積 925.41㎡
 - 1階 事務室、一般開架、児童開架、くつろぎ、閉架書庫
 - 2階 会議室、小会議室、閉架書庫
 - ③ 構造 鉄筋コンクリート造 2階建、野芝・カラーアスファルト
 - ④ コンピュータシステム導入 平成7年4月より6市町村オンライン化
 - ⑤ 大型プロジェクター導入 ビデオ・LD・CD・カセット

(3) 利用案内

- (1) 開館時間 午前10時～午後6時15分
- (2) 休館日 月曜日・国民の休日に関する法律に規定する休日、ただしこの日が月曜日にあたる時は、その翌日・年末年始・蔵書整理期間（おおむね5日間）・館内整理日（毎月最終金曜日）
- (3) 資料貸出 図書 20冊 貸出期間2週間
CD・DVD 3点以内 貸出期間1週間
- (4) 資料検索
- (5) 資料の予約、リクエストの受付
- (6) レファレンスサービス（必要な資料の提供、調べ方案内）
- (7) 複写サービス
- (8) 国立国会図書館 デジタルコレクション閲覧・複写 歴史的音源試聴

(4) 運営の基本方針

- ・生涯学習の拠点として、住民に親しまれる図書館
- ・住民と共に育つ図書館
- ・読書を介して、子どもたちの生きる力を育む図書館

(5) 事業計画の概要

- ・郷土資料及び幅広い資料の収集と整備
- ・ボランティアグループ、読書グループとの協同
- ・奉仕活動の充実、貸出、リクエスト、レファレンス等
- ・図書館利用のPR活動
- ・学校図書館との連携の強化
- ・おたのしみ会、おはなし会、図書館講座等の読書推進活動

事業	内 容			実 施 日	
おはなし会	ボランティアグループとの協働 「みちくさ」 「やまんば」 「おもちゃ箱」 大人の「おはなし会」 出演グループ未定 「カントリーマアム」 「絵本を楽しむ会」 「おもちゃ箱」 「やまんば」			5月16日（土）	
				7月18日（土）	
				9月16日（水）	
				10月17日（土）	
				11月21日（土）	
				1月16日（土）	
				2月17日（水）	
				3月13日（土）	
				年8回実施	
				おたのしみ会	小・中学生読書ボランティア「のこのこ」と 図書館司書によるおはなし会
6月3日（水）					
7月1日（水）					
9月2日（水）					
11月4日（水）					
2月3日（水）					
3月3日（水）					
年7回実施					
図書館まつり	第23回 図書館まつり 人形劇、ボランティアおはなし会、ブックコートかけ ペーパークラフト、講演会（小林節子先生）			6月20日（土） おはなし会等	
				6月21日（日） 講演会等	
保育所の園児への読み聞かせ	保育所の園児への読み聞かせと絵本の貸し出し			年12回	
出前講座	子育てサロン 読み聞かせ 子育て塾			7月17日、11月20日、3月5日	
				5月13日	
ファーストブック贈呈	ファーストブックプレゼント （第86・87回原村誕生会）			10月	
				2月	
セカンドブック贈呈	3歳を迎えた子供たちにおはなし会に併せて セカンドブックをプレゼント			10月21日（水）	
				3月24日（水）	
クリスマス会	ボランティアグループによるおはなし会			12月20日（日）	
図書館講座	夏の図書館講座			8月5日（土）	
	冬の図書館講座 絵手紙			2月6日（土）	
テーマ図書の展示	季節や行事に併せてテーマを組み図書を展示			4月「子ども読書の日」等 月に2～3回入れ替え	
展示コーナー展示	村内出土土器	3月25日	中学校美術展	11月18日	
	「美しい村」写真&ポスター	6月10日	絵手紙	1月6日	
	オブジェやアクセサリー	7月23日	ぼろ機織り	2月17日	
	読書週間（10/27から11/9）に関して	9月30日			

(6) 令和元年度図書館利用状況

	H8～ 31.3.31	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数		23	23	25	24	25	22
来館者数		6,833	6,635	8,210	7,699	7,913	7,590
登録者		34	27	32	27	52	17
利用人数		3,807	3,952	4,223	4,050	4,066	3,499
利用相互団体		67	97	143	120	73	74
貸出資料数 (個人貸出)		8,876	8,856	9,613	9,296	9,816	8,458
貸出資料数 (団体相互)		155	313	412	423	168	163
内 AV聴覚		274	238	294	260	208	201
内 AV視覚		791	711	839	796	814	750
貸出資料数		9,031	9,169	10,025	9,719	9,984	8,621
来館者 人数累計	2,228,296	2,235,129	2,241,764	2,249,974	2,257,673	2,265,585	2,273,175
貸出資料 数累計	2,462,999	2,472,030	2,481,199	2,491,224	2,500,943	2,510,927	2,519,548

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	元年度合計
開館日数	20	23	23	22	22	24	276
来館者数	6,533	7,788	8,095	7,222	7,620	4,158	86,295
登録者	34	21	27	42	17	34	364
利用人数	3,370	3,522	3,817	3,841	4,221	3,715	46,083
利用相互団体	91	114	108	87	70	60	1,104
貸出資料数 (個人貸出)	8,148	7,875	9,673	9,115	9,822	10,622	110,170
貸出資料数 (団体相互)	234	348	261	214	180	98	2,969
内 AV聴覚	180	163	209	208	258	227	2,720
内 AV視貸	747	679	805	761	783	800	9,276
貸出資料数	8,382	8,223	9,934	9,329	10,002	10,709	113,139
来館者 人数累計	2,279,708	2,287,496	2,295,591	2,302,813	2,310,433	2,314,591	
貸出資料 数累計	2,527,930	2,536,153	2,546,087	2,555,416	2,565,418	2,576,138	

(7) 蔵書集計表

(令和 2.3.31 現在)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術美術	言語	文学	その他	計
一般	1,794	1,502	3,307	6,986	3,695	4,406	2,202	6,822	965	22,113	223	54,015
児童	735	305	1,058	1,201	1,713	795	599	1,238	389	8,262	13,173	29,468
郷土資料	290	149	1,753	1,383	264	271	205	557	24	577	2	5,475
計	2,819	1,956	6,118	9,570	5,672	5,472	3,006	8,617	1,378	30,952	13,398	88,958

(8) 資料集計

	2019.3.31	2020.3.31
図書	75,888	75,932
絵本	11,858	12,276
逐次刊行物	4,240	4,366
A V 聴覚	2,604	2,224
A V 視覚	1,058	1,074
紙芝居	733	750
その他	8	9
総合計	96,389	96,631

(9) 登録者数

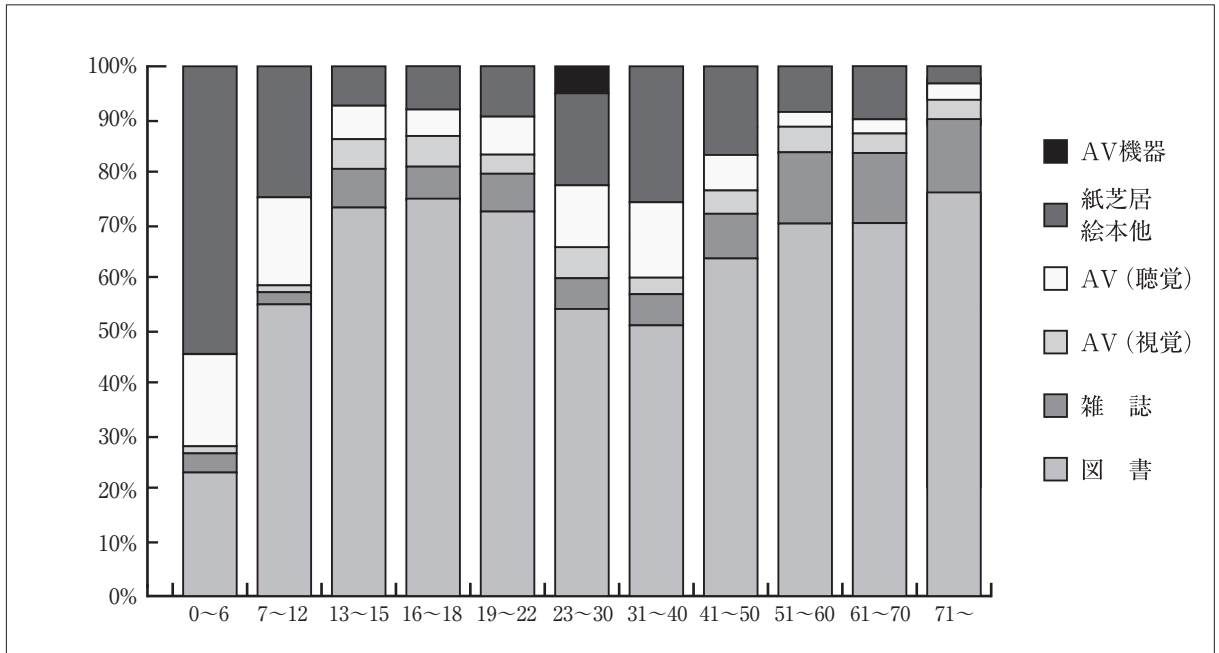
(令和 2.3.31 現在)

地区	登録数	地区	登録数	地区	登録数
大久保	126	判之木	126	富士見	1,262
柳沢	338	上里	288	茅野	4,709
ハッ手	407	農場	139	諏訪	1,260
払沢	1,230	やつがね	376	下諏訪	260
柏木	475	ペンション	224	岡谷	370
菖蒲沢	214	原山	1,162	郡外	88
室内	463	村内計	6,798	県外	261
中新田	1014			その他	69
南原	216			村外計	8,279

全登録者のうち村内登録者率 H29年度 ・登録率45.28% (6,452人÷14,249人)
H30年度 ・登録率44.99% (6,607人÷14,683人)
R 1年度 ・登録率45.08% (6,798人÷15,077人)
村人口内 ・登録率84.95% (6,798人÷8,002人)

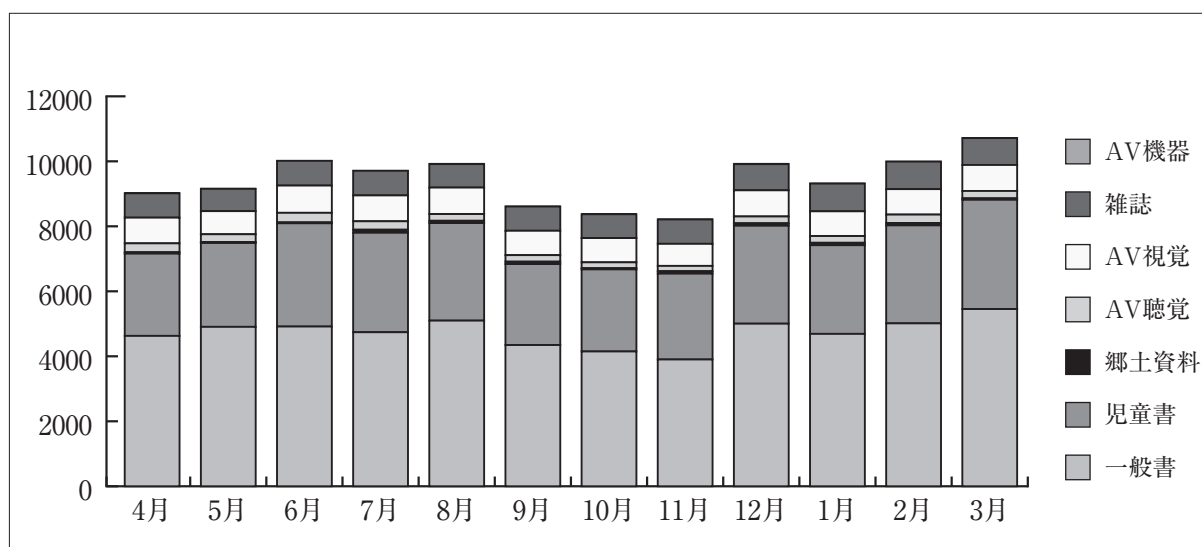
(10) 年代別・分類別貸出状況

	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～	計
図書	3,075	8,638	3,592	831	1,111	1,506	7,074	11,647	11,454	12,557	8,519	70,004
雑誌	456	358	231	93	66	154	590	1,531	2,119	2,169	1,432	9,199
A V (聴覚)	104	204	119	58	14	56	220	595	443	623	273	2,709
A V (視覚)	2,135	2,463	259	96	37	89	1,537	1,356	491	492	200	9,155
紙芝居	6,619	2,712	322	45	65	260	4,126	2,544	872	989	391	18,945
A V 機器	8	2	4	0	1	77	11	7	22	16	10	158
計	12,397	14,377	4,527	1,123	1,294	2,142	13,558	17,680	15,401	16,846	10,825	110,170
合計	110,170 (個人) + 2,934 (団体) + 35 (相互) + 10,455 (諏訪地域相互) = 123,594											



(11) 形態別資料貸出の月次統計（諏訪広域相互含まない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般書	4,628	4,906	4,916	4,741	5,098	4,347	4,149	3,902	5,004	4,690	5,014	5,454	56,849
児童書	2,532	2,581	3,178	3,061	3,002	2,492	2,526	2,642	3,015	2,729	3,015	3,363	34,136
郷土資料	42	31	27	93	70	73	37	75	75	74	74	44	715
AV聴覚	274	238	294	260	208	201	180	163	209	208	258	227	2,720
AV視覚	791	711	839	796	814	750	747	679	805	761	783	800	9,276
雑誌	748	686	761	758	772	746	732	750	805	853	847	827	9,285
AV機器	16	16	10	10	20	12	11	12	21	14	11	5	158
計	9,031	9,169	10,025	9,719	9,984	8,621	8,382	8,223	9,934	9,329	10,002	10,720	113,139



(12) 貸出資料数の推移

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
個人貸出	121,188	119,254	115,358	112,716	110,170
相互・団体	9,493	8,134	3,598	2,911	2,969
館内貸出合計			118,956	115,627	113,139
諏訪広域相互			7,293	9,282	10,455
貸出合計	130,681	127,388	126,249	124,909	123,594

※平成28年度までの「諏訪広域相互」は、団体・相互に含む。

(13) 受入統計（取得別・分類別）

資料区分	一般書	児童書	郷土資料	障害者資料	AV (CD)	AV (DVD)	AV (BD)	AV (ビデオ)	AV (LD)	AV 機器	AV 他	雑誌	その他	総計
購入（定期）	1,276	732	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1,218	0	3,228
購入（見計い）	4	55	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60
購入（リクエスト）	22	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	24
購入（その他）	40	87	4	0	2	18	0	0	0	0	0	0	0	151
購入（直送）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
購入（交付金等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄 贈	354	61	61	0	46	4	0	0	0	0	0	166	0	692
弁 償 受 入	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17
発 見 受 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保 管 転 換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄 託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
借 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
冊 数 合 計	1,714	938	68	0	48	23	0	0	0	0	0	1,387	0	4,178

(14) 資料の受入数及び除籍数等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
図 書	3,200	2,289	3,276	2,801	2,252
パンフレット	0	5	0	0	0
絵 本	489	409	546	477	450
紙 芝 居	18	9	3	19	18
C D	69	38	40	20	48
ビ デ オ	0	0	0	0	0
L D	0	0	0	0	0
D V D	72	41	54	31	23
8 ミ リ	1	1	0	0	0
そ の 他 資 料	0	0	0	0	0
雑 誌	1,380	1,152	1,387	1,383	1,387
受 入 合 計	5,229	3,944	5,306	4,731	4,178
蔵 書 合 計	99,320	99,742	97,551	96,389	96,631
不 明 資 料	58	27	30	58	52
廃 棄 ・ 除 籍	3,142	3,597	3,522	7,497	3,747

10 社会教育施設の概要

名 称	所在地・構造・建築面積等	建設（開館） 年度・建設費・休館日・入館料									
原村埋蔵文化財 収蔵庫	原村9296-1 敷地面積 3,123㎡ 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 376.2151㎡	昭和57年3月竣工									
原村郷土館 民俗資料展示室	原村17217-1566 敷地面積 2,585㎡ 構造 木造平屋建 建築面積 135.48㎡	昭和59年3月竣工									
民 家	構造 木造平屋建 建築面積 134.865㎡										
まてのくら	構造 木造2階建 建築面積 28.42㎡										
原村歴史民俗資料館 八ヶ岳美術館 電話 0266-79-2701	原村17217-1611 敷地面積 56,912㎡ 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 屋根PC工法によるドーム連続形外壁 建築面積 1,155.03㎡	昭和54年11月25日竣工 建設費 306,210千円 開館時間 午前9時～午後5時まで （入館は午後4時30分まで） 休館日 年末年始（12月29日～1月3日） <table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>一般</th><th>団体(20名以上)</th></tr> <tr> <td>大人(高校生以上)</td><td>510円</td><td>460円</td></tr> <tr> <td>小中学生</td><td>250円</td><td>200円</td></tr> </table>	区 分	一般	団体(20名以上)	大人(高校生以上)	510円	460円	小中学生	250円	200円
区 分	一般	団体(20名以上)									
大人(高校生以上)	510円	460円									
小中学生	250円	200円									
原村文化財整理室 電話 0266-79-7930	原村8915-1他 構造 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 300.43㎡	令和元年9月25日改修 改修工事費 30,264千円									
原村中央公民館 電話 0266-79-4815	原村12080 構造 鉄筋コンクリート造2階建 建築面積 1,498㎡	昭和51年10月30日竣工 建設費 197,061千円									
原村中新田地区館 電話 0266-79-4834	原村13510-1 構造 鉄筋コンクリート造2階建 建築面積 443㎡	昭和56年11月15日竣工 建設費 53,200千円 平成20年増築									
原村社会体育館 電話 0266-79-4922	原村12087 構造 鉄筋コンクリート造 +鉄骨造2階建 建築面積 1,668.3811㎡	昭和60年3月竣工 建設費 513,651千円 休館日 火曜日、国民の祭日の翌日									
原村図書館 電話 0266-70-1500	原村12079-1 構造 鉄筋コンクリート造2階建 建築面積 925.41㎡	平成8年6月竣工 建設費 359,450千円 休館日 月曜日									

原村の教育

令和2年度

編集
及び発行

原村教育委員会

長野県諏訪郡原村12080番地

☎ 0266-79-7920

印刷

ブイ・アンド・シー

諏訪市沖田町1-62

☎ 0266-58-7301